

1 普及活動 Educational Activities

1-1 資料の収集及び図書室の公開 Art Libraries and Other Reference Materials

[本館]

①収集活動

種別	購入	寄贈	遡及入力	計	収蔵総点数
和図書	346	872	9	1,227	28,460
洋図書	52	893	15	960	12,355
国内展覧会カタログ	15	1,822	11	1,848	52,742
国外展覧会カタログ	73	1,196	5	1,274	30,810
計	486	4,783	40	5,309	124,367

種別	購入	寄贈	遡及入力	計	収蔵総点数
和雑誌	—	—	—	112	3,567
洋雑誌	—	—	—	31	1,029

注)雑誌はタイトル数を計上

②アートルाइブラリ(本館2階)公開活動

開室日数	214日
公開資料件数	8,193件
入室者数	2,113人
公開請求件数	1,401件

[工芸館]

①収集活動

種別	購入	寄贈	遡及入力	計	収蔵総点数
和図書	40	201	10	251	7,600
洋図書	14	29	0	43	1,082
国内展覧会カタログ	7	501	9	517	12,611
国外展覧会カタログ	4	72	0	76	1,595
計	65	803	19	887	22,888

種別	購入	寄贈	遡及入力	計	収蔵総点数
和雑誌	—	—	—	36	1,152
洋雑誌	--	--	--	3	119

注) 1. 雑誌はタイトル数を計上

②図書閲覧室(工芸館1階)公開活動

開室日数	175日
公開資料件数	744件
入室者数	251人
公開請求件数	166件

1-2 児童生徒を対象とした事業

1-2-1 本館

◆小・中・高等学校への授業等への協力(ギャラリートークやガイダンス等を伴う受入)

平成24年4月18日	千代田区立九段小学校	44人
平成24年4月24日	江戸川区立清新第一小学校	117人
平成24年6月5日	昭和女子大学附属昭和小学校	103人
平成24年6月7日	墨田区立両国小学校	87人
平成24年6月8日	文京区立本郷小学校	77人
平成24年7月3日	荒川区立第一日暮里小学校	25人
平成24年11月7日	港区立港陽小学校	60人
平成25年2月14日	中野区立新山小学校	26人
平成25年2月21日	東京都市大学附属小学校	80人
平成25年2月22日	品川区立清水台小学校	13人
平成25年3月8日	墨田区立両国小学校	99人
平成24年5月29日	岡崎市立竜南中学校	5人
平成24年7月11日	修徳中学校	154人
平成24年7月25日	横浜市立東永谷中学校 美術部	28人
平成24年7月29日	千代田区立神田一橋中学校通信教育課程	12人
平成24年10月19日	文京区立第十中学校	47人
平成24年10月31日	和洋九段女子中学校	183人
平成24年11月6日～14日	共立女子中学校	660人
平成24年2月1日	府中市立浅間中学校	7人
平成24年7月19日	国土館高等学校定時制課程3年生	15人
平成24年7月25日	日本大学豊山高等学校・中学校 美術部	15人
平成24年10月24日	高知県立岡豊高等学校	23人
平成24年11月21日	女子美術大学附属高等学校	191人
平成24年12月12日	群馬県立西邑楽高等学校	70人
平成25年2月2日	国土館高等学校定時制課程2年生	15人

◆学校教職員の研修会等への協力

平成24年11月21日 荒川区教員研修 美術部会 9人

◆学校教職員を対象とした研究会

「開館60周年記念特別展 美術にぶるっ! ベストセレクション 日本近代美術の100年」先生のための鑑賞講座

【講演】

日時：平成24年10月28日 13時00分～14時30分 聴講者数：32人

講師：鈴木勝雄(美術課主任研究員)、平野康夫(文京区立第十中学校教諭)、細谷美宇(企画課研究補佐員)

【特別観覧日】

日時：平成24年10月26日～10月28日 観覧者数：93人

「フランシス・ベーコン展」先生のための鑑賞講座

【講演】

日時：平成25年3月17日 13時00分～14時00分 聴講者数：29人

講師：保坂健二郎(美術課主任研究員)

【特別観覧日】

日時：平成24年25年3月16日、3月17日 観覧者数:39人

◆小・中学生向けプログラム

リニューアル休館のため開催せず

◆MOMATコレクションセルフガイド

小・中学生を対象として、所蔵作品展に関連したこどもセルフガイドを作成し、来館した小・中学生に配布した。

◆「開館60周年記念特別展 美術にぶるっ！ ベストセレクション 日本近代美術の100年」ジュニア・セルフガイド

小学5年生～中学3年生を対象として、開館60周年記念特別展 美術にぶるっ！ ベストセレクション 日本近代美術の100年」に関連しセルフガイドを作成し、来館した小・中学生に配布した。

◆「東京国立近代美術館のスクール・プログラム」

主に教員を対象として、学校対象のプログラム(ギャラリートーク受け入れ、セルフガイド、アートカード、トークラリー、教員研修)紹介冊子を作成し、年間カレンダーとともに学校等へ送付した。

◆KIDS★MOMAT2012

夏休み企画として、工芸館・フィルムセンターの子ども向けプログラム情報を集約したチラシを作成し、都内近県の小・中学校の協力を得て配布し、ホームページに掲載した。(本館は休館情報のみ)

◆小・中・高等学校の授業等への協力(ギャラリートークやタッチ&トーク、ガイダンス等を伴う受入)

平成24年6月22日	東京都立大江戸高校	12人
平成24年6月29日	花見堂小学校	64人
平成24年7月11日	修徳中学校	165人
平成24年7月26日	大田区立徳持小学校	14人
平成24年7月28日	大田区立久原小学校	20人
平成24年8月18日	町田市立つくし野中学校	32人
平成24年7月～8月(夏季休業期間中)	九段中等教育学校	120人
平成24年8月21日	千代田区立千代田小図工部	11人
平成24年10月29日	小金井市立前原小学校	120人
平成24年11月6日	東京コミュニティースクール	21人
平成24年12月17日	文京区立本郷小学校4年	67人
平成24年12月18日	文京区立柳原小学校6年	47人

◆学校教職員の研修会等への協力

平成24年8月23日	品川区図工教員	18人
平成24年8月24日	小金井市図工教員	8人
平成25年2月23日	東京私学研究所	10人

◆学校教職員を対象とした研究会

「こども工芸館／おとな工芸館 植物図鑑」展 教職員のための鑑賞講座
 平成24年6月9日 22人
 講師:齊藤佳代(工芸課研究補佐員)

◆小・中学生向けプログラム

「ワークショップ」(対象:小学4年生～中学3年生)
 平成24年8月12日 14人
 平成24年8月13日 15人

◆未就学児から小学生向けプログラム

「こどもタッチ&トーク」(対象:3歳～小学3年生)
 平成24年8月5日 15名
 平成24年8月6日 15名
 平成24年8月7日 15名

◆こどもセルフガイド／おとなセルフガイド

平成24年7月22日～9月2日
 配布対象:小学生以下(こどもセルフガイド)、中学生以上(おとなセルフガイド)
 鑑賞のヒントや作品情報を成長段階に対応した2種類のセルフガイドを作成、配布した。2種ともに同一の作品を取り上げたことにより、『おとなセルフガイド』は小学生以下を対象とする指導案としても活用することを目的とした。

<企画展>

◆「写真の現在4 そのときの光、そのさきの風」展スライドショーとトーク

日時：平成24年6月16日 14時00分～16時00分
講師：有元伸也、本山周平、中村綾緒(出品作家)
聴講者数：116人

日時：平成24年7月21日 14時00分～15時45分
講師：新井卓、村越としや(出品作家)
聴講者数：86人

◆「吉川霊華展」講演会

日時：平成24年7月7日 14時00分～15時30分
講師：笠嶋忠幸(出光美術館学芸課長代理)
聴講者数：136人

◆「吉川霊華展」ギャラリートーク

日時：平成24年6月23日 14時00分～15時00分
講師：鶴見香織(美術課主任研究員)
聴講者数：28人

日時：平成24年6月30日 14時00分～15時00分
講師：鶴見香織(美術課主任研究員)
聴講者数：55人

日時：平成24年7月6日 18時00分～19時00分
講師：鶴見香織(美術課主任研究員)
聴講者数：60人

◆「Concerto Museo/絵と音の対話」

「絵と音ー対話的手法」
日時：平成24年8月10日 19時00分～20時00分
出演：松平敬(声・バリトン)
聴講者数：370人

「アルマ・マラーの傍らで」
日時：平成24年8月11日 13時00分～15時00分
出演：金持亜実(ソプラノ)、岩田友里(メゾソプラノ)、斉藤雅昭(ピアノ)
聴講者数：450人

「抽象芸術の相即」
日時：平成24年8月12日 13時00分～15時00分
出演：渡邊辰紀(チェロ)
聴講者数：510人

◆「14の夕べ」

「東京デスロック リハビリテーション」

日時：平成24年8月26日 19時30分～21時00分

出演：東京デスロック(演劇)

聴講者数：約350人

「福永信／古川日出男／谷川俊太郎 朗読」

日時：平成24年8月27日 19時30分～21時10分

出演：福永信(小説家)、松本花奈、古川日出男(小説家)、谷川俊太郎(詩人)

聴講者数：約350人

「奥村雄樹 河原温の純粹意識あるいは多世界(と)解釈」

日時：平成24年8月28日 20時00分～20時40分

出演：同時通訳者9名

聴講者数：約300人

「No Collective Concertos No.4」

日時：平成24年8月29日 17時00分～21時00分

出演：中井悠(音楽)他、約40名

聴講者数：約250人

「手塚夏子 ただの「実験」がメディアになるのか?の実験」

日時：平成24年8月30日 19時00分～21時30分

出演：手塚夏子(ダンス)、他2名

聴講者数：約250人

「高嶋晋一 Half of Us」

日時：平成24年8月31日 20時00分～21時00分

出演：高嶋晋一(美術)、他2名

聴講者数：約300人

「小杉武久 Circuits」

日時：平成24年9月1日 20時00分～21時00分

出演：小杉武久(音楽)、他2名

聴講者数：約700人

「大友良英 one day ensembles INVISIBLE BORDERS」

日時：平成24年9月2日 17時00分～21時00分

出演：大友良英(音楽)、他約20名

聴講者数：約650人

「神村恵カンパニー 沈殿図」

日時：平成24年9月3日 20時00分～21時00分

出演：神村恵(ダンス)、他4名

聴講者数：約300人

「core of bells The pulverized callow feast」

日時：平成24年9月4日 20時30分～21時45分

出演：core of bells (音楽)

聴講者数：約250人

「小林耕平 タ・イ・ム・マ・シ・ン」

日時：平成24年9月5日 19時30分～21時30分

出演：小林耕平(美術)、他1名

聴講者数：約300人

「村川拓也 ツァイトゲーバー」

日時：平成24年9月6日 20時00分～21時00分

出演：村川拓也(演劇)、他1名

聴講者数：約300人

「橋本聡 偽名」

日時：平成24年9月7日 17時00分～22時00分

出演：橋本聡(美術)、他約16名

聴講者数：約350人

「一柳慧」

日時：平成24年9月8日 20時00分～20時50分

出演：一柳慧(音楽)、他2名

聴講者数：約900人

◆「夏の家」展講演会

「スタジオ・ムンバイと夏の家について」

日時：平成24年9月1日 14時00分～16時00分

講師：ビジョイ・ジェイン(出品作家)

聴講者数：111人

◆「夏の家」展ギャラリートークと上映会

ギャラリートーク：「夏の家について」

上映会：「あつめた光をそらにかえず」

日時：平成24年9月15日 18時00分～21時00分

講師：柴原聡子(企画課研究補佐員、本展企画者)、中村綾緒(写真家)

聴講者数：250人

◆「夏の家」展レクチャー

「動くー動く家、仮の家」

日時：平成24年9月22日 18時00分～20時00分

講師：坂口恭平(建築家など)、中谷礼仁(歴史工学科)、牧紀男(計画家)

聴講者数：152人

「考える一家の条件、人間の生きる場所の条件」

日時：平成24年9月28日 19時00分～21時00分

講師：塚本由晴(建築家)、藤森照信(建築史家)

司会：後藤治(建築史家)

聴講者数：202人

「つくるー建築の造り方」

日時：平成24年9月29日 18時00分～20時00分

講師：内田祥哉(建築家)、高橋誠一(建築家)

司会：戸田穰(建築史家)

聴講者数：120人

◆開館60周年記念プログラム「だれでもMOMAT」

日時：平成24年12月1日 10時00分～17時00分

入場者数：5175人

MOMATalk

実施回数：18回

参加者数：745人

ギャラリーツアー「MOMATコレクションができるまで」

実施回数：2回

講師：鈴木勝雄(美術課主任研究員)

聴講者数：115人

アートカード・ワークショップ

実施回数：12回

参加者数：66人

MOMATコレクション缶バッジをつくろう！

終日実施

参加者数：1770人

MOMATパズル

終日実施

参加者数：100人程度(見積もり人数)

◆東京国立近代美術館60周年記念シンポジウム

「近代美術館の誕生—前史から未来へ」

日時：平成24年12月1日 10時00分～17時00分

講師：木下直之(東京大学教授)、五十殿利治(筑波大学教授)、高橋裕次(東京国立博物館学芸企画部博物館情報課長)、水沢勉(神奈川県立近代美術館長)、島田紀夫(ブリヂストン美術館長)、蔵屋美香(東京国立近代美術館美術課長)

司会：松本透(東京国立近代美術館副館長)

聴講者数：117人

◆東京国立近代美術館60周年記念特別展「美術にぶるっ！ベストセレクション 日本近代美術の100年」展国際シンポジウム

「戦後日本美術の新たな語り口を探る—ニューヨークと東京、二つの近代美術館の展覧会を通して見えてくるもの」

日時：平成24年12月23日 13時00分～17時30分

講師：ドリユン・チョン(ニューヨーク近代美術館)、ガブリエル・リッター(ダラス美術館)、前山裕司(埼玉県立近代美術館)、林道郎(上智大学)、鈴木勝雄(美術課主任研究員)

聴講者数：145人

◆東京国立近代美術館60周年記念特別展「美術にぶるっ！ベストセレクション 日本近代美術の100年」展映画上映会

「岩波映画と産業」

日時：平成25年1月13日 10時15分～12時00分

聴講者数：30人

「特集：羽仁進」

日時：平成25年1月13日 13時00分～15時30分

講師：羽仁進(映画監督)

聴講者数：95人

「実験映画の胎動」

日時：平成25年1月14日 10時00分～11時30分

聴講者数：70人

「勅使河原宏と安部公房」

日時：平成25年1月14日 13時00分～15時30分

聴講者数：100人

◆東京国立近代美術館60周年記念特別展「美術にぶるっ！ベストセレクション 日本近代美術の100年」展キュレーター・トーク

「戦時期の美術」

日時：平成24年10月19日 18時00分～19時00分

講師：大谷省吾(企画課主任研究員)

聴講者数：35人

「海外作品とMOMAT」

日時：平成24年10月26日 18時00分～19時00分

講師：中林和雄(企画課長)

聴講者数：29人

「1970年代の美術」

日時：平成24年11月2日 18時00分～19時00分

講師：松本透(副館長)

聴講者数：27人

「MOMATの写真コレクション」

日時：平成24年11月9日 18時00分～19時00分

講師：増田玲(美術課主任研究員)

聴講者数：27人

「MOMATの日本画より」

日時：平成24年11月16日 18時00分～19時00分

講師：鶴見香織(美術課主任研究員)

聴講者数：47人

「静物としての身体、ほか」

日時：平成24年12月7日 18時00分～19時00分

講師：榊田倫広(美術課研究員)

聴講者数：26人

「新しくなった『MOMATコレクション』について、建築の観点から」

日時：平成24年12月14日 18時00分～19時00分

講師：保坂健二郎(美術課主任研究員)

聴講者数：51人

「100年のからだ」

日時：平成25年1月4日 18時00分～19時00分

講師：蔵屋美香(美術課長)
聴講者数：67人

◆「フランシス・ベーコン」展講演会

日時：平成25年3月8日 18時00分～19時30分
講師：ペーター・ヴェルツ(出品映像アーティスト)
聴講者数：97人

「無秩序の中に秩序を見出すーフランシス・ベーコンのスタジオ」

日時：平成25年4月6日 14時00分～16時00分
講師：マルガリータ・カボック(ダブリン市立ヒュー・レーン美術館
コレクション統括)
聴講者数：100人

「ベーコンについて 初級」

日時：平成25年3月22日 18時30分～19時30分
講師：榊田倫広(美術課研究員、本展企画者)
聴講者数：150人

「ベーコンについて 初級」

日時：平成25年3月30日 14時00分～15時30分
講師：保坂健二郎(美術課主任研究員、本展企画者)
聴講者数：148人

「ベーコンについて 中級」

日時：平成25年4月5日 18時30分～19時30分
講師：榊田倫広(美術課研究員、本展企画者)
聴講者数：150人

「ベーコンについて 上級」

日時：平成25年4月13日 14時00分～15時30分
講師：保坂健二郎(美術課主任研究員、本展企画者)
聴講者数：150人

◆「フランシス・ベーコン」展映画上映会とミニレクチャー

「愛の悪魔」

日時：平成25年3月9日 14時00分～16時00分
講師：保坂健二郎(美術課主任研究員、本展企画者)
聴講者数：140人

「愛の悪魔」

日時：平成25年3月16日 14時00分～16時00分
講師：保坂健二郎(美術課主任研究員、本展企画者)
聴講者数：140人

◆「フランシス・ベーコン」展映像上映

「フランシス・ベーコン 出来事と偶然のための媒体(原題：BACON'S ARENA)」

日時：平成25年4月28日 14時00分～15時30分
聴講者数：150人

◆「フランス・ベーコン」展演奏会

「アイリッシュハーブ・フルート演奏会～午後の調べ」

日時：平成25年5月11日 14時00分～15時30分

講師：菊地恵子(日本ハーブ協会 ノンペダル・ヒストリカル部門委員長)、
豊田耕三(アイリッシュユニットO'Jizo、Toyota Ceili Band、(e) Shuzo
Band主宰)

聴講者数：140人

◆「フランス・ベーコン」展舞踏公演とミニレクチャー

「偏愛的肉体論」

日時：平成25年5月18日 13時00分～15時30分

振付・演出：和栗由紀夫(舞踏家)

出演：和栗由紀夫、十亀修之介、江角由加、矢萩もえみ、崎山莉奈

講師：森下隆(慶應義塾大学アート・センター)

聴講者数：140人

<所蔵作品展>

◆キュレーター・トーク

「明治・大正の風景表現の諸相」

日時：平成24年7月20日 18時00分～19時00分

担当研究員：中村麗子(企画課主任研究員)

聴講者数：10人

「見えるものと見えざるもの」

日時：平成25年3月9日 11時00分～12時00分

担当研究員：都築千重子(美術課主任研究員)

聴講者数：25人

「ステップ(step)について」

日時：平成25年4月19日 18時00分～19時00分

担当研究員：三輪健仁(企画課主任研究員)

聴講者数：15人

◆研究員による所蔵品ガイド

日時：平成24年5月12日 14時00分～15時00分

講師：保坂健二郎(美術課主任研究員)

聴講者数：42人

「機械と運動—モダニティーの諸相」

日時：平成25年1月26日 14時00分～15時00分

講師：鈴木勝雄(美術課主任研究員)

聴講者数：38人

◆「原弘と東京国立近代美術館 デザインワークを通して見えてくるもの」展
ギャラリートーク

日時：平成24年4月15日 15時00分～16時00分

講師：小西啓介(グラフィックデザイナー)

聴講者数：49人

※「原弘と東京国立近代美術館 デザインワークを通して見えてくるもの」展
は平成23年度事業

◆「越境する日本人—工芸家が夢見たアジア1910s-1945」展連続講座

日時：平成24年5月13日 14時00分～15時00分

講師：木田拓也(工芸課主任研究員)

聴講者数：30人

日時：平成24年5月20日 14時00分～15時00分

講師：横溝廣子(東京芸術大学大学美術館准教授)

聴講者数：20人

日時：平成24年5月27日 14時00分～15時00分

講師：川島公之(繭山龍泉堂)

聴講者数：32人

日時：平成24年6月3日 14時00分～15時00分

講師：木谷清人(鳥取民芸美術館常務理事)

聴講者数：39人

日時：平成24年6月10日 14時00分～15時00分

講師：鄭銀珍(大阪市立東洋陶磁美術館学芸員)

聴講者数：61人

日時：平成24年6月17日 14時00分～15時00分

講師：服部文孝(瀬戸市美術館館長)

聴講者数：32人

日時：平成24年6月24日 14時00分～15時00分

講師：内藤裕子(工芸課客員研究員)

聴講者数：34人

◆「越境する日本人—工芸家が夢見たアジア1910s-1945」展シンポジウム
「オリエンタル・モダニティ：東アジアのデザイン史 1920-1990」

日時：平成24年7月14日 14時00分～17時00分

場所：東京国立近代美術館(本館) 地下1階 講堂

主催：東京国立近代美術館、埼玉大学、デザイン史学研究会

基調講演：樋田豊郎(秋田公立美術短期大学学長)

パネルディスカッション：

菊池裕子(ロンドン芸術大学准教授)、リン・ウェッシー(ロンドン芸術大学
講師)、リー・ユナ(ブライトン大学講師)、菅靖子(津田塾大学准教授)、木
田拓也(工芸課主任研究員)

聴講者数：118人

◆「現代の座標－工芸をめぐる11の思考」展アーティストトーク

日時：平成24年9月23日 14時00分～15時00分

講師：森口邦彦(染色作家)

聴講者数：48人

日時：平成24年10月14日 14時00分～15時00分

講師：畠山耕治(金工作家)

聴講者数：45人

◆「現代の座標－工芸をめぐる11の思考」展ギャラリートーク

日時：平成24年9月30日 14時00分～15時00分

講師：諸山正則(工芸課主任研究員)

聴講者数：22人

日時：平成24年11月11日 14時00分～15時00分

講師：齊藤佳代(工芸課研究補佐員)

聴講者数：23人

◆「東京オリンピック1964 デザインプロジェクト」展ギャラリートーク

日時：平成25年2月24日 15時00分～16時00分

講師：木田拓也(工芸課主任研究員)

聴講者数：17人

◆「東京オリンピック1964 デザインプロジェクト」展ギャラリートーク

日時：平成25年3月17日 15時00分～16時00分

講師：寺本美奈子(印刷博物館学芸員)

聴講者数：12人

◆所蔵作品展「こども工芸館／おとな工芸館 植物図鑑」ギャラリートーク

日時：平成24年7月29日 14時00分～15時00分

講師：今井陽子(工芸課主任研究員)

聴講者数：30人

日時：平成24年7月29日 14時00分～15時00分

講師：齊藤佳代(工芸課研究補佐員)

聴講者数：16人

◆所蔵作品展「寿ぎの「うつわ」－工芸館の漆工コレクションより」アーティストトーク

日時：平成24年12月23日 14時00分～15時00分

講師：小森邦衛(漆芸家)

聴講者数：85人

日時：平成25年1月27日 14時00分～15時00分

講師：並木恒延(漆芸家)

聴講者数：87人

◆所蔵作品展「寿ぎの「うつわ」－工芸館の漆工コレクションより」ギャラ

リートーク

日時：平成25年2月10日 14時00分～15時00分

講師：北村仁美(工芸課主任研究員)

聴講者数：48人

◆所蔵作品展「寿ぎの「うつわ」—工芸館の漆工コレクションより」講演会

日時：平成25年1月12日 10時30分～12時00分

講師：室瀬和美(漆芸家)

横溝廣子(東京芸術大学大学美術館准教授)

北村仁美(工芸課主任研究員)

聴講者数：146人

◆所蔵作品展「花咲く工芸」ギャラリートーク

日時：平成25年2月24日 14時00分～15時00分

講師：内藤裕子(工芸課客員研究員)

聴講者数：29人

日時：平成25年3月17日 14時00分～15時00分

講師：諸山正則(工芸課主任研究員)

聴講者数：31人

1-4 大学等との連携

1-4-1 本館

◆インターンシップ

参加者数：7名

研修内容：コレクション・企画展・美術館教育・図書資料の4分野における基本的な日常業務の補助、および研修者の目的に沿った個別事業への参加。

◆大学の授業等への協力（ギャラリートークやガイダンス等を伴う受入）

平成24年4月21日	武蔵大学	15人
平成24年6月22日	お茶の水美術専門学校	18人
平成24年6月24日	女子美術大学短期大学部	10人
平成24年6月29日	早稲田大学教育学部	23人
平成24年6月30日	埼玉大学教育学部	11人
平成24年6月30日	学習院大学文学部哲学科	5人
平成24年10月4日	帝京科学大学	19人
平成24年10月21日	実践女子大学	34人
平成24年11月17日	昭和女子大学	30人
平成24年11月27日	東京造形大学	20人

◆生涯学習施設等への協力

平成24年6月15日	習志野台公民館	25人
平成24年10月30日	平山郁夫シルクロード美術館	30人
平成24年11月10日	絵画教室 下落合アトリエ	39人
平成24年11月20日	日独セミナー派遣者	7人
平成24年12月13日	フランス語婦人会	20人
平成25年3月15日	世田谷美術館友の会	28人
平成25年3月28日	立川市地域文化振興財団	45人

1-4-2 工芸館

◆インターンシップ

参加者数：4人

研修内容：展覧会の準備（カタログ執筆・展示撤収作業含む）、作品貸借立会、所蔵作品の状態管理、広報・普及活動等、学芸業務全般の補助

◆博物館実習

受入期間：平成24年8月7日～8月12日(5日間)

開催場所：工芸館

参加者数：2名

担当した研究員数:5名

実習内容：業務の状況や工芸作品について学とともに、作品・資料の取り扱いを実習した。

◆大学の授業等への協力(ギャラリートークやガイダンス等を伴う受入)

平成24年7月23日 東京家政大学 32人
平成24年11月20日 多摩美術大学 8人
平成24年12月21日 東京藝術大学 16人
平成25年1月19日 パーソンズアートスクール 9人

◆生涯学習施設等への協力

平成24年7月13日 東京女子大学同窓会 30人
平成24年7月23日 「MOVIE+TOUCH&TALK」(ポーラ伝統文化振興財団との共催イベント) 50人
平成24年8月28日 世田谷区親子読書会 39人
平成24年11月20日 日本博物館協会エデュケーター研修 12人
平成25年3月13日 葛飾区柴又北野町会 45人
平成25年3月18日 銀座もとじ染織研究会 42人

「MOMATガイドスタッフによる所蔵品ガイド」は、本館のリニューアル工事休館にあわせ、2ヶ月半休止した。フォローアップ研修では、9月に奥村高明氏(聖徳大学教授)より「テート・モダンの鑑賞ハンドブックと子ども鑑賞」、1月に本間美里氏(大田区立矢口小学校教諭)より「ギャラリートーク分析について」をテーマに講演をいただき、教育学的側面から鑑賞活動への理解を深めた。開館60周年記念プログラム「だれでもMOMAT」では、日頃の活動での経験を生かし、MOMATガイドスタッフが、「MOMATALK」「アートカード・ワークショップ」「MOMATパズル」の3つのプログラムを担当した。

ボランティアの登録人数 42人

◆MOMATガイドスタッフによる所蔵作品ガイド

平成24年5月12日～7月29日	67回／594人
平成24年10月16日～平成25年1月14日	72回／2,060人
平成25年1月24日～5月26日	109回／969人

◆ハイライト・ツアー

平成24年4月1日	24人
平成24年6月3日	30人
平成24年7月1日	23人
平成25年2月3日	27人
平成25年3月3日	36人

技術の向上を目的として、登録中のガイドスタッフ各人対象に、ガイド内容の現状確認とディスカッションを個別に行った。また毎月実施しているフォローアップ研修では、ガイドの現況を元に、より充実した工芸鑑賞の体験を来館者に提供できるよう、ディスカッションと実地研修を重ねた。

ボランティアの登録人数 32人

◆タッチ&トーク

「織を極める 人間国宝 北村武資」展

4回／180人

「越境する日本人—工芸家が夢見たアジア1910s-1945」展

24回／205人

所蔵作品展「こども工芸館／おとな工芸館 植物図鑑」

12回／157人

「現代の座標—工芸をめぐる11の思考」展

23回／238人

所蔵作品展「寿ぎの「うつわ」-工芸館の漆工コレクションより」

16回／216人

所蔵作品展「花咲く工芸」

12回／127人

小・中学校の教員、美術館の学芸員、教育委員会の指導主事が一堂に会し、美術の鑑賞力を高めるための講演、ギャラリートーク分析、グループワーク及び発表、ワールドカフェ（全体討論）、アートカード・ワークショップ等が行われた。なお、昨年を引き続いて「平成24年度教員免許状更新講習」を実施した。

主 催：独立行政法人国立美術館

共 催：文部科学省

会 場：国立西洋美術館、東京国立近代美術館

日 時：平成24年7月30日(月)～7月31日(火)

参加者数：100名

(小学校教諭28名、中学校教諭33名、指導主事8名、学芸員31名)

教員免許状更新講習：受講者13名

修了者13名

2 刊行物 Publications

2-1 企画展覧会カタログ

2-1-1 本館

写真の現在4 そのときの光、そのさきの風

24×18cm

151p

編著者：増田玲, 中村麗子

出版者：東京国立近代美術館

出版年：2012.6

吉川霊華展 近代にうまれた線の探究者

26×19cm

223p

編著者：鶴見香織, 大谷省吾

出版者：東京国立近代美術館

出版年：2012.6

東京国立近代美術館60周年記念特別展 美術にぶるっ！

ベストセレクション 日本近代美術の100年

29×23cm

251p

編著者：松本透, 鈴木勝雄, 榎田倫広, 蔵屋美香, 鶴見香織, 大谷省吾

出版者：NHK, NHKプロモーション

出版年：©2012

フランシス・ベーコン展

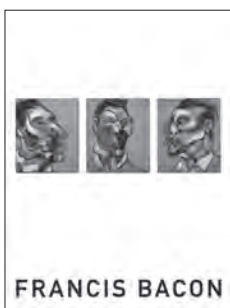
30×23cm

187p

編著者：東京国立近代美術館, 豊田市美術館, 日本経済新聞社文化事業部

出版者：日本経済新聞社

出版年：©2013





越境する日本人 工芸家が夢みたアジア 1910s-1945

21×18cm

151p

編著者：唐澤昌宏、木田拓也、内藤裕子

制作者：坂井編集企画事務所

出版者：東京国立近代美術館

出版年：2012



現代の座標 工芸をめぐる11の思考

26.5×20.3cm

126p

編著者：唐澤昌宏、諸山正則、齊藤佳代、大木香奈

制作者：アイメックス・ファインアート

出版者：東京国立近代美術館

出版年：2012



東京オリンピック1964 デザインプロジェクト

25.5×18.6cm

161p

編著者：唐澤昌宏、今井陽子、木田拓也、内藤裕子

制作者：株式会社美術出版社

出版者：東京国立近代美術館

出版年：2013



2-2 目録・ガイド等

2-2-1 本館

美術にぶるっ！ベストセクション日本近代美術の100年：
ジュニアセルフガイド

21×81cm (折りたたみ21×14cm)

1枚

編著者：細谷美宇

出版者：[東京国立近代美術館]

出版年：[2012]

開館60周年記念手帳：東京国立近代美術館

22×11cm

[31p]

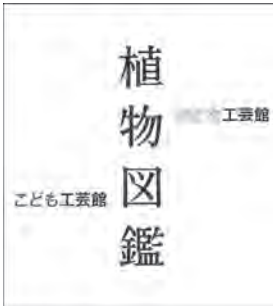
編著者：[東京国立近代美術館]

出版者：[東京国立近代美術館]

出版年：[2012]

装丁の図柄は4種類





こども工芸館 植物図鑑

11.5×10.5cm／14p

編著者：今井陽子、齊藤佳代

出版者：東京国立近代美術館

出版年：2012



おとな工芸館 植物図鑑

11.5×10.5cm／14p

編著者：今井陽子、齊藤佳代

出版者：東京国立近代美術館

出版年：2012

2-3 研究紀要・年報等



東京国立近代美術館研究紀要 第17号

24×19cm

115p

出版者：東京国立近代美術館

出版年：2013.3

平成23年度 東京国立近代美術館活動報告

26×19cm

250p

出版者：東京国立近代美術館

出版年：2013.1



平成24年度 東京国立近代美術館概要

30×21cm

28p



2-4 その他の刊行物

2-4-1 本館

近代美術館の誕生—前史から未来へ：東京国立近代美術館60周年記念シンポジウム：予稿集

30×21cm

15p

編著者：東京国立近代美術館

出版者：東京国立近代美術館

出版年：2012

実験場1950s

21×15cm

209p

編著者：鈴木勝雄、榊田倫広、大谷省吾

出版者：東京国立近代美術館

出版年：2012.10

東京国立近代美術館60年史

27×19cm

884p + CD-ROM 1枚

出版者：東京国立近代美術館

出版年：2012.12

美術家たちの証言：東京国立近代美術館ニュース『現代の眼』選集

22×16cm

302p

編著者：東京国立近代美術館

出版者：美術出版社

出版年：2012.10



2-4-2 工芸館

明治期に海外流出した近代工芸作品の調査

29.5×21cm

103p

編著者：工芸課 諸山正則、北村仁美

出版者：東京国立近代美術館

出版年：2012





30×21cm／15p
出版：東京国立近代美術館

No593 2012年4-5月号

特集1：越境する日本人

特集2：原弘と東京国立近代美術館 デザインワークを通して見えてくるもの

編集：東京国立近代美術館

出版年：2012.4



No.594 2012年6-7月号

特集1：吉川霊華展 近代にうまれた線の探究者

特集2：写真の現在4 そのときの光、そのさきの風

特集3：平成23年度の新収蔵作品

編集：東京国立近代美術館

出版年：2012.6



No.595 2012年8-9月号

特集1：開館60周年記念企画「夏の家」

特集2：美術作品のデジタル記録撮影について

編著：東京国立近代美術館、美術出版社

出版年：2012.8



No.596 2012年10-11月号

特集1：美術館開館当時、一九五〇年代の美術をめぐって 60周年記念特別展「美術にぶるっ!セレクション日本近代美術の100年」によせて

特集2：「現代の座標 工芸をめぐる11の思考」について

特集3：平成23年度の新収蔵作品

編著：東京国立近代美術館、美術出版社

出版年：2012.10



No.597 2012年12月-2013年1月号

特集1：所蔵品ギャラリーのリニューアルについて

特集2：開館60周年をふりかえる

特集3：所蔵作品展 寿ぎの「うつわ」 工芸館の漆工コレクションから

編著：東京国立近代美術館、美術出版社

出版年：2012.12



No.598 2013年2-3月号

特集1：東京オリンピック1964 デザインプロジェクト

特集2：所蔵作品展 寿ぎの「うつわ」 工芸館の漆工コレクションから

特集3：所蔵作品展 花咲く工芸

編著：東京国立近代美術館、美術出版社

出版年：2013.2

3 広報

3-1 広報

本年度は開館60周年にともない、これまでにないさまざまな広報の取り組みを行い、美術館の存在をより広く周知するよう努めた。

昨年度にデザイナー平野敬子氏に依頼して制作した60周年シンボルマークをもとに、引き続き美術館外壁のサイン、地下鉄駅の電飾看板、地下鉄車内の動画広告を展開した。なお平野氏はこのマークのデザインにより平成24年度の亀倉雄策賞を受賞した。

前年12月に開設した60周年記念サイトのコンテンツを充実させていくほか、プレスツアーの開催やSNSの発信などを行った。SNSは、とりわけ夏のイベントの告知・拡散に効力を発揮した。

5月には60周年記念切手の発行があり、創立記念日の12月1日の前日の朝日新聞夕刊には、これまでの美術館の企画展を網羅した全面広告を掲出、美術館の歴史をヴィジュアル的にアピールした。

さらに、60周年の記念企画として、ご自身の誕生日当日にご来場いただいた方を無料とするサービスを通年で先行好評を博した。

以上のような60周年事業に関連した広報のほか、通常の広報活動としても、展覧会ごとにプレス・リリースを作成して報道各機関に送付、展覧会前日に記者内見会を開催した。展覧会ごとにポスター、チラシを作成、送付し、JR、地下鉄、京王線等の主要駅にポスターを掲出した。

さらに「北の丸公園文化ゾーンマップ」の作成や「ぐるっとパス」への参加などを周辺機関と協力して広報に努めた。

本館の所蔵作品展については、『読売新聞』都内版に毎月1回「近代美術の眼」を連載し、幅広く所蔵作品を紹介するようにした。また、所蔵品ギャラリーのリニューアルに関して、『美術手帖』で4回連載し、新生MOMATコレクションの周知をはかった。

工芸館では特に、これまでとは異なるメディアとして、デジタルサイネージ、ラジオ等を活用し、新しい層への普及を試みた。また本館がリニューアル休館となる期間にも夏休み中の親子に向け、『レッツエンジョイ東京』を通じて竹橋駅から工芸館までの誘導のための告知を強化した。

3-2 美術館情報システムによる普及・広報

平成19年度より稼働のコンテンツ・マネジメント・システム(CMS)を用いて、ホームページ・コンテンツの追加更新を迅速化し、本年度は特に「60周年記念サイト」を設けてポスター・アーカイブも公開するなどして、記念事業の広報につとめた。

独立行政法人国立美術館所蔵作品総合目録検索システムに新収蔵作品の文字画像データを追加するとともに、同システムへの著作権のある作品画像掲載を進めるため、許諾を得た水彩・素描その他の作品237点について画像を新規登録した。

また、今年度から新たに工芸についての著作権者情報を整備するとともに、初年度として陶磁の著作権許諾申請手続を開始した。

平成23年度に着手した東京国立近代美術館所蔵作品管理システムならびに独立行政法人国立美術館総合目録のデータ登録更新とインターフェースの改良を、他国立美術館と連携して実装させた。

平成23年度に欧米主要美術図書館横断検索システムであるartlibraries.net (http://artlibraries.net/index_en.php)と国立美術館の図書検索システム(東京国立近代美術館および国立西洋美術館)の連携可能性について、国立情報学研究所と連携して始めた受託研究の成果により、artlibraries.netへの参加を実現

させた。

(1) ホームページのアクセス件数

13,678,742件(本館・工芸館・フィルムセンター含む)

(2) インターネットによる調査研究成果の公表

『研究紀要』第13号(2009年)より、収録論文全文のホームページへの掲載を開始した。また、『研究紀要』『現代の眼』および自館ならびに国立西洋美術館開催展覧会カタログなどの目次情報をホームページにおいて公開するとともに、図書検索システム(OPAC)からもこれら目次検索を従来通り可能にしている。『東京国立近代美術館60年史』において附録CD-ROMに収めた『『現代の眼』総目次』『本館・工芸館企画展出品作家総索引』および隈元謙次郎著「日本における近代美術館設立運動史」の諸ファイルをホームページに掲載して公開した。

(3) インターネットを用いた広報

①メールマガジン

毎月計15号を発行した。

②美術館情報システムによる広報活動

独立行政法人国立美術館所蔵作品総目録検索システムに新収蔵作品の文字画像データを追加するとともに、同システムへの著作権のある作品画像掲載を進めるため、許諾を得た水彩・素描その他の作品237点について画像を新規登録した。また、今年度から新たに工芸についての著作権者情報を整備するとともに、初年度として陶磁の著作権許諾申請手続を開始した。

③特徴的な取り組み

平成23年12月22日に開設した60周年記念サイト(<http://www.momat.go.jp/momat60>)においては、「インサイド・ストーリー」「東近美へのメッセージ」「人気投票」「ポスター・アーカイブ」「ラヂオ東近美」などのコンテンツを継続して充実させた。あわせて、Twitter(<http://twitter.com/momat60th>)、facebook(<http://www.facebook.com/MOMAT60>)のSNSを活用しながら、多面的なインターネット広報を展開した。